



171号

昭和39年6月1日発行
発行所 会津若松市
発行人 桜木幸次
編集 広報係
定価 5円

会津若松

市政だより

昭和26年7月6日第三種郵便物認可

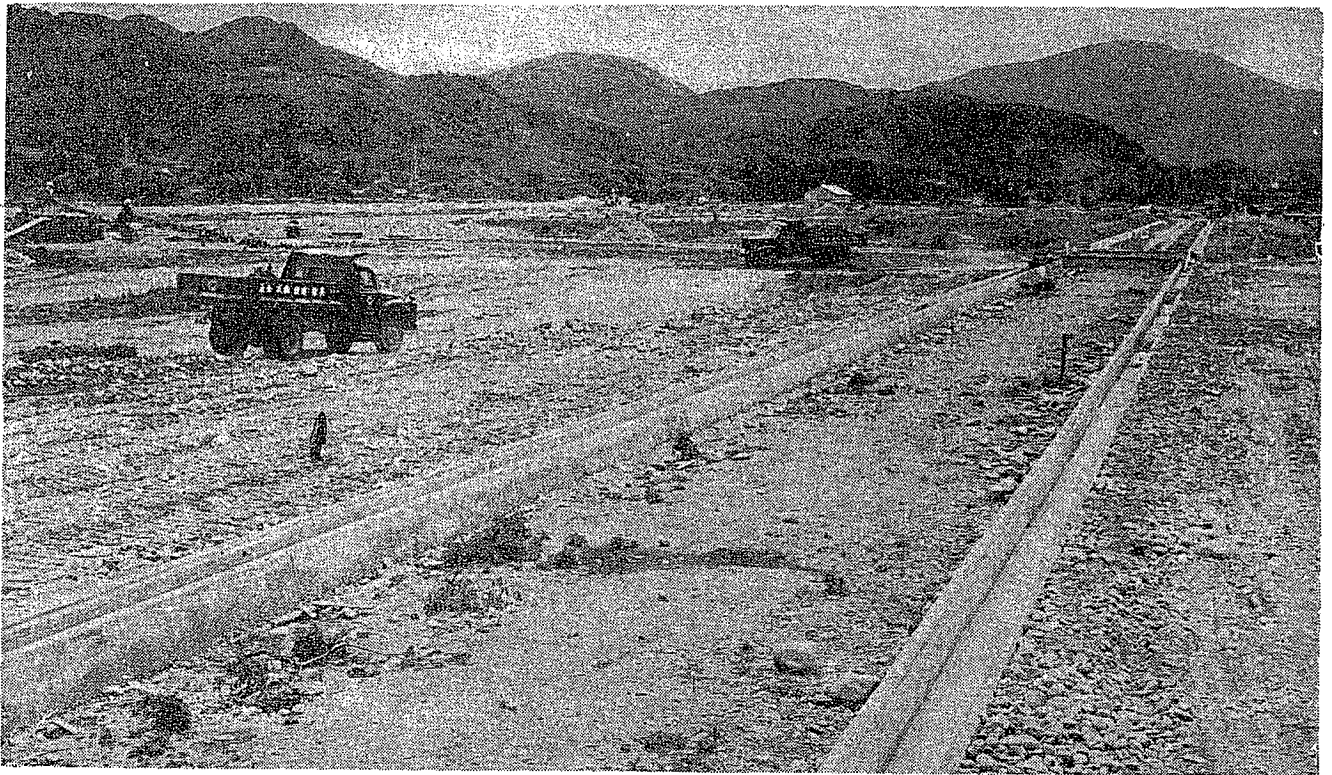
毎月1日・15日発行

水道週間

6月1日—7日

水を多く必要とする夏の季節となりました。水道の水は、道路や庭などにまかないで下さい。

節水にご協力を！



明日は期待する No.9

広い原野にダンプカーが小さく動き、働く人はさらに小さい。
ここ門田町一ノ堰の漆器団地工事は今がさかり。
漆器業界と関係団体が協力して、日本では初めての試み！
会津漆器の近代化の道は大きく開かれようとしている。
会津の既存産業界のホープとしてだけでなく、日本の漆器として私たちの心を、いついつまでも温め続けてくれるにちがいない。

催し案内

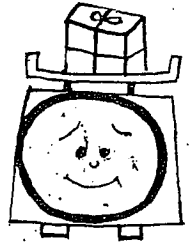
第七回歯の健康弁論大会

学校病の一つとされている「むし歯」は児童生徒の過半数がかかっているといわれ、それが治療も一般的にはあまり重要視されていない状態です。
県歯科医師会若松支部、市教委事務局、県教委事務局北会津出張所では、四日からの「歯の衛生週間」にちなんで、六月六日午後一時から謹教小講堂で、市内小、中学生を対象に歯の健康衛生に注意しましょうと、第七回「歯の健康について」の弁論大会を開きます。
また、県歯科医師会若松支部では、歯の無料相談所を五日から九日まで大善アパートで、毎日午前十時から正午午後一時から三時まで開きます。

正しい「はかり」で明るい家庭

計量週間 6月1日～7日

昭和26年6月7日計量法が公布され、昭和34年1月1日から、メートル法が実施されました。7日の計量記念日を機会に、温度計やはかりなど、暮らしの中のはかりも備えつきたいものです。

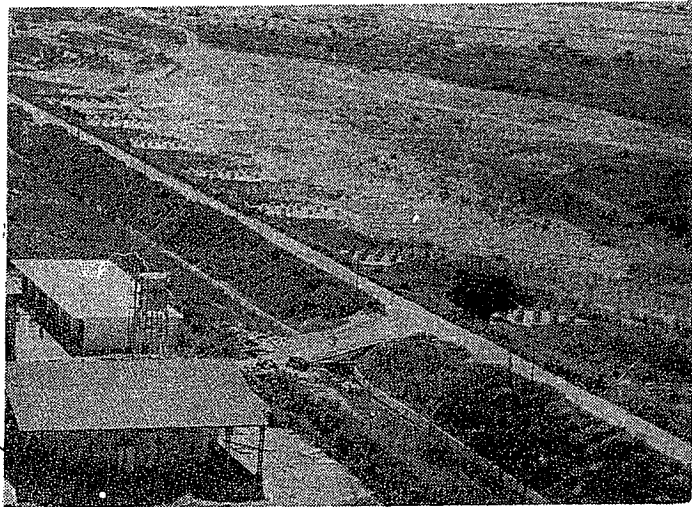


大川に工場・住宅団地を造成

産業基盤開発特別委員会が計画

会津若松市の産業基盤の開発は土地造成が必要であると、昨年九月、市議会では産業基盤開発特別委員会を設置して、調査を行なって来ましたが工場

誘致をはかるための団地として大川筋を整備して、工場、住宅敷地を作る計画を進めています。



空からの大川——この空地も土地造成で高度利用が期待されています。

会津若松市には現在新市内を含めて約四千五百ヘクタールの農地がありますが昭和三十八年度には住宅や工場敷地として二十五ヘクタールがつぶされています。最近の地価の値上りで、安い敷地を要求する工場の

方針に依りられない現状の場所から、将来の工場誘致にも備えて団地の造成をはかることになり、本市の百年の大計をたてる上においても、今から手がけようとするものです。現在の計画によりますと

川幅約六百メートルの大川の右岸川原を大戸町馬越から神指町高久地内までの延長十六・六七五キロメートル幅約百メートルにわたって新たな堰堤を築き、千六百六十六平方メートル(約五十万坪)の敷地を造成して工場、住宅団地を作り、川原の土砂を堰堤や団地に利用して川底を下げ、洪水の防止という河川改修も合わせて行なう、川原の高度利用をはかろうとする大がかりな計画です。

工事は国、県で行なうかまたは開発公社的な団体を新たに設けるか、今のところはっきり決まっています。総工費は十六億四千五百五十万円が見込まれています。

さらに、この団地を作った工場を誘致したり、住宅団地を作れば、最低三万トンの用水が必要といわれ、現在の市の水道の給水能力二万六千二百トンは、給水人口八万五千人の飲料水に使用されるもので、団地の工業用水に使われる余裕は

日、特別委員会の一行十五名が用地用水の確保のため猪苗代湖を現地調査しました。この調査は市の都市開発のための用水確保もあわせて行なわれたものですが現在猪苗代湖の水は発電所や安積郡、会津方面の用水として、あるいは飲料水にフルに使われており、これ以上猪苗代湖からの取水は困難との結論に達し、結局、大川上流にかんがいで、飲料用、工業用、発電用などの多くの目的に使用されるダムを建設して貯水による用水の確保計画にも力を入れることになりました。

また産業基盤開発特別委員会では、こうした大川筋の河川改修による工場、住宅団地の造成と会津若松市の水資源の開発のほかに、電力生産地の電力料金を安くしようと、電力料金の地域格差設定も推進中です。

現在市の西側にはハードボード株式会社、市営自動車学校、衛生プラント、食肉センターが完成し、さらに三億一千五百万円の工事で着々工事が進んでいる漆器団地の建設など、めざましい近代都市への整備がなされていますが、この大川の工場、住宅団地が完成すれば、空地として利用度の低かった大川に大工場団地が誕生することになり、本市の西部に託される期待は大きなものがあります。

昨年七月に結成された会津総合開発協議会は、新潟や常磐・郡山地区の新産都市という、そのはなばなしはクロウズアップに比べ、条件的には谷間にある会津地方二十八市町村の地域格差をなくそうと努力を続けています。

今まで同協議会では、会津地方の基礎的な産業基盤の整備として磐西線の電化・電車化や会津線の輸送力の改善促進、一級国道新潟、平線の改良舗装の促進など主として道路交通面に力を入れて来ました。また、東

の河川改修による工場、住宅団地の造成と会津若松市の水資源の開発のほかに、電力生産地の電力料金を安くしようと、電力料金の地域格差設定も推進中です。

名勝や史蹟が多く、名の知られている所でも、今までは、各市町村が独自で開発してきたのが多かったのですが、とくに、最近はその必要が要請され、よくいわれている幅のある会津の立体的な観光コースとして、開発しようとするものです。

これからの観光は、単なる物見遊山の観光ではなく、自然に親しんで、機械化された現代生活の緊張感から解放されるという保健上の勿論のこと、とくに社会、科学などに対する新教養をつんだり、史蹟を訪ねて歴史をひもとくという役割りを果たすことにも大きい期待がもたれているので

さらに最近の国民の所得水準の向上にもなっており、国民総観光」という、だれでもが気軽に、安い費用で有効にすごせる観光旅行が全国的に盛り上がりつつある。現在、広域観光対策は、会津地方にある八十三の史蹟や百十カ所のにほる行楽地を、有機的に関連づける開発をはかり、観光客の誘致対策をはかるための具体策を得ようとするものです。

四日の総会では、こうした会津地方にあるうずもれた未開発の史蹟、名勝などの観光資源を、現在における開発上の問題点など開発に必要を調査を行ない、観光都市会津若松市の利益のためばかりでなく、広く全会津の産業観光の推進力としての観光対策をはかることになったのです。

市内の各界代表が参加して市役所議場で、鶴ヶ城天守閣再建期成会を結成。九日、十五日、

市内の各界代表が参加して市役所議場で、鶴ヶ城天守閣再建期成会を結成。九日、十五日、

市内の各界代表が参加して市役所議場で、鶴ヶ城天守閣再建期成会を結成。九日、十五日、

市内の各界代表が参加して市役所議場で、鶴ヶ城天守閣再建期成会を結成。九日、十五日、

市内の各界代表が参加して市役所議場で、鶴ヶ城天守閣再建期成会を結成。九日、十五日、

五月の主な あしあと

- 一日 行仁小、新校舎落成
- 二日 鉄筋三階建の十五の教室は土足であがられ、水洗便所、ベランダなどもある近代的な校舎に生れ変わった
- 三日 踏み切りの交通安全に活躍
- 五日 城北小鉄道安全隊に、川合仙鉄管理局長から黄色の安全旗と笛、交通安全腕章をそれぞれ二十本ずつ贈られ、隊員たちは大よろこび
- 七日 天守閣再建期成会が発足
- 十日 鶴ヶ城の天守閣再建はいよいよことし着工されるが市内の各界代表が参加して市役所議場で、鶴ヶ城天守閣再建期成会を結成。
- 十五日 第十八回会津美術展 公民館で約二百五十点が出品され、美術愛好者がつめかけ人気をよんだ。
- 十五日、二十五日 大塚山古墳発掘さる
- 十七日 リズム体操に盛んな拍子日本体操第八回会津若松市大会は、会津陸上競技場に市内の小中学生ら約二千六百人が参加して開かれた
- 二十二日 芦名家のお墓整備 会津初代の領主として会津の基礎を築いた芦名家の墓の整備が、市の手で小田山下に着工された。

観光客誘致の広域対策

会津総合 一市五郡の史蹟開発

京の日本経済研究所に全会津の産業開発について調査を依頼、七月下旬にわかる調査結果にもとづいて、さらに産業基盤の整備にのりだすことになっております。ところで、さる五月十四日に開かれた同協議会総会には、二市五郡の市町村議会議長も構成員に参加され、全会津から五十三名が出席して、会津地方の広域観光対策など五つの議題が協議されました。



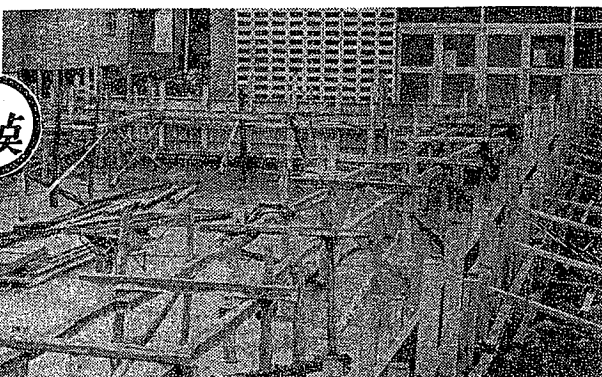
人気を呼んだ素人赤ちゃん写真コンクール↑

第3回赤ちゃん生活展は、市社会課と母子愛育会会津支部共催で16日から1週間、公民館で開かれました。人気を呼んだのは、今年初めて募集した約300点の素人赤ちゃん写真コンクールで、可愛いらしさを良く表わした8点が入賞しました。

話題の焦点

進む城北小プール建設↓

市では、児童生徒の体位向上と施設の充実を図る学校プール建設を始めて4年目。すでに5校のプールが建設されています。今年度は3校が建設されますが、その第1期工事として予算2百10万円で城北小のプールが建設されています。



第二コースが完成

市営自動車学校

増設コースの 舗装完成

みなさんのご期待にそうよ、優秀な運転者の養成に努力をいたしています。

時間外教習を 行ないます

昨年度増設に着手し、コースの原形が完成していた第二コース(増設コース)が、今年度早々から舗装工事に入り五月きれいに完成しました。
延一万八千平方メートルの広大なコース内の北側には、十数本の若松が砂漠のオアシスのごとく技能教習に汗ばむ人々に憩いの涼風を送っています。
名実共に東北一の施設を誇りまた全国でも有数の市営自動車学校として市民の

入校者を募ります

昭和三十七年八月開校以来教習を受けた人は約二千名に達しそのほとんどが学校の検定試験あるいは公安委員会の試験に合格されておられます。親切、誠実をモットーにした教習は、毎月二回実施する卒業検定において毎回七十五%の合格率を見ております。

- 十日から中元 保証融資申込受付
- 昭和三十九年度中元保証融資が、次の要領により実施されますのでお申込み下さい。
- 1 中元保証融資総額 六億円
 - 2 申込受付期間 六月十日から八月十日まで
 - 3 使途 中元に必要とする増加運転資金に限り、増設増資に限り、四月十日以内
 - 4 貸付期間 九十日以内(但し特別の事情のあるものはこの限りでない)
 - 5 貸付利率及び信用保証 (1)金融機関の所定利率 (2)信用保証料は日歩四厘八毛
 - 6 貸付金額 申込人について百万円以内
 - 7 受付場所 市内各金融機関
- 本要領による申込は借入申込書に「中元」と朱書きすること。その他不明の点は市商工観光課商工係にご相談下さい。

六月から新規電話架設代金の払込始まる

電々債券の売却にご注意

会津若松電報電話局の自動電話切り替えは、九月下旬を目標に工事を急いでいます。この自動電話切り替えと同じ頃約二千個の新規電話の増設を計画し、昨年からの加入申込を受け付けていました。去る三月末で予定数に達しましたので、六月一日からこの新規加入申込の受理を行なっています。受理通知は六月七日から一週間かけて順次発送されますが、架設代金(単独電話十一万三百円、共同電話四万三百円)の払い込みは通知後十日以内となつております。もし、期日までに支払われなると申込みは取り消しとなりますので、あらかじめお金の準備をしておくと望ましく、六月一日から新規電話架設代金の払込が始まるので、電々債券の売却にご注意。



「時間を守る」 標語決まる

市教委事務局と西ロータリークラブでは、「時間を守る」標語を募集しましたが、審査の結果、次の方が入選者に選ばれました。応募総数は百点でした。

金賞 いつでもどこでも五分前 若林正雄 四中一年

銀賞 時間守って楽しい 長谷川忠知子 一中三年

銅賞 尊い人命貴重な時間 梅宮春夫 片柳町一三三

このほか佳作七点が決まりました。

踏切事故をなくそう

10日まで鉄道妨害防止運動

- 踏切を通るときは必ず安全をたしかめてから通らなう。
- 幼児を線路内で遊ばせないで下さい。
- 特に農繁期は耕耘機の踏切事故に気をつけて下さい。



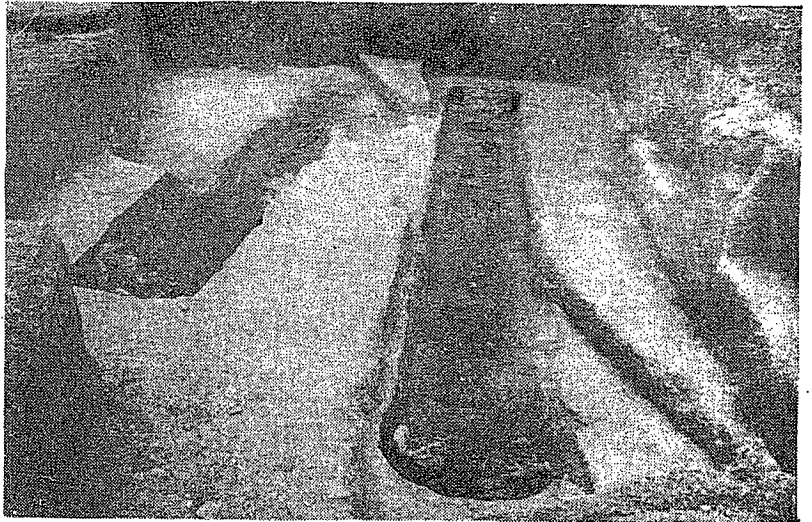
三千年前の古代会津を解明

大塚山古墳発掘終る

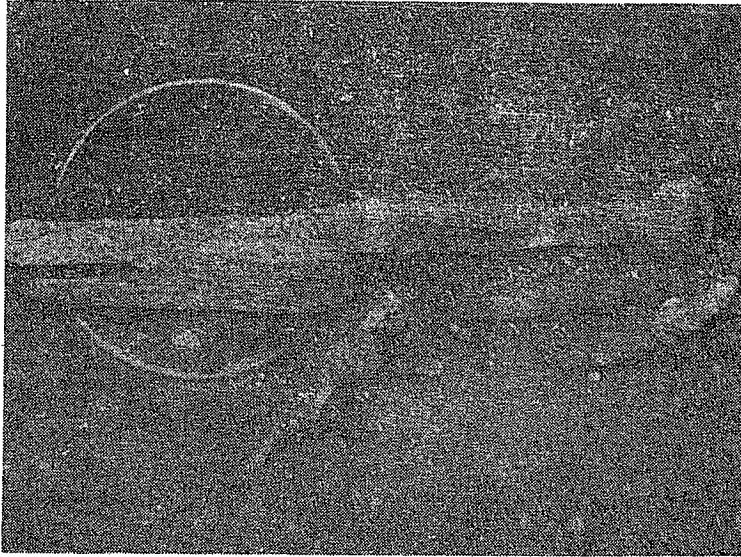
東北の古墳では、最古のものといわれる大塚山古墳の調査は、会津若松史出版委員会が東北大文学部伊東信雄教授に依頼して、会津若松市の古墳文化の解明のために、五月十五日から発掘が行なわれ、二十五日に終りました。

大塚山古墳は高さ約三十メートルの丘陵の上に、北向きに造られた前方後円墳で長さ九十メートル、後円部は幅四十五メートル、高五メートル、前方部は幅五メートルと直交する方向に埋められた二つの木棺が発見されました。南の棺は長さ約九メートル、幅約一・二メートル、北にある棺は長さ約七メートル、幅約一メートルで、木棺は腐つてのこつていませんでしたがおそらく割竹形木棺を直接埋められたものと思われま

す。二つの棺の中から出土した遺物は、古代支那の魏國伝来の銅鏡を模して作った三角縁神獸鏡をはじめ、四刀、剣など二十一ふり、鉄製のオノとカンナが九個、鉄と銅製のヤジリ八十二個、ヒスイの勾玉や碧玉製の管玉、コハク製のソロバン玉ガラス製の小玉など合計百八十一個のほかトイシヤ系まきもありません。



300点の副葬品が出土した古墳発掘全景



南棺から出土した東北では最初の三角縁神獸鏡と素環頭鉄太刀

一つの古墳から三つの鏡が出土したことは、東北に前例がなく、とくに三角縁神獸鏡、素環頭太刀、ユキ(矢筒)、碧玉製紡錘車(ハコ)の出土はいずれも地方では初めてのものです。これらの出土副葬品の内容と、古墳の外形が山上墳で、前方部が後円部よりもはるかにせまくかつ低い点主軸に直交して細長い木棺を埋めた内部構造などから畿内の前期古墳の特徴をそなえており、応神仁徳陵に代表される中期古墳よりも古いものと結論づけられました。したがって、古墳の造られた年代は四世紀後半か五世紀初頭と考えられます。

南北二棺のうち、南棺の方が大きくかつ副葬品も優秀なので、この古墳の主人はその家族のものと思われる。今回の発掘で、大塚山古墳は東北最古の古墳でありまた優秀な副葬品をもつことも多く持つ古墳であることがはじめて明らかにされました。このような古い古墳が東北に存在することは従来は考えられず、会津で発見されたことは盆地の歴史の古さを証明する貴重なものです。この古墳の解明は単に会津若松史の編纂のためばかりでなく、日本の古代史の研究に寄与するところが大きいと学界からも注目されています。

感電事故の防止

—東北電力若松営業所—

- (1) 配電線に近接し、または近接のおそれのある場所での作業について
 - ① 作業着手前に、板など適当と考えられるものに防護壁を設けるとともに危険標示をすること。
 - ② なお、高圧線に対しては電気工事業者に依頼し絶縁性の充分な電線絶縁管(ラインシールド)を装着すること。また装着に際しては、電力会社の立会を必要とするので事前にその旨連絡すること。
 - ③ 作業監視員を立てること。
 - ④ 作業中は、作業にかかる前にはまず服装をたぐす習慣をつけ、保安帽・作業衣・はき物を正しく着用し腕やすねを露出させないようにすること。
 - ⑤ なお、雨天または発汗時等の服装には特に注意すること。
- (2) 停電時における無断昇柱について
 - ① 変圧器あるいは引込線(キャッチホルダー)のヒューズ切れなどのため停電した際に電力会社に連絡せず多少電気知識を持った人やラジオ修理人、内線工事業者、電気工事に従事したことのある労働者などが無断で昇柱して感電している場合がありますので、このような不法かつ極めて危険な行為を絶対におこなってはならないこと。
 - ② 営業所の防止態勢
 - (1) 日常巡視の際、建築中の家屋などで配電線に近接している箇所またはおそれのある個所の早期発見につとめ、危険個所を発見した場合は、直ちに関係ご需要家ならびに作業員に対し防護処置についてご注意申し上げるとともに実状に依り弊社も応急処置をすることにしております。
 - (2) 電気工事業者に対して同様のことを要請し、ご協力を得ております。
 - (3) 建築業者その他のかたがたから危険の旨申し越しがあつた場合は直ちに現場調査をおこない適切な処置を講ずるよう努めております。
 - (4) その他電気全般についてのご相談は、弊社窓口においていつでも承っております。